**第7課　勝利されたイエス様　2020.3.1**

◎ 賛美 :韓日 395番 　◎ 使徒信条

◎アイスブレーキング

自分の精神と体に害を与えると分かっていながらも断ち切れないものがあるならば、またはそのようなものを断ち切った経験があるならば分かち合ってください。　◎ みことばの中へ

**テーマのみことば**

さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。そして、四十日四十夜断食したあとで、空腹を覚えられた。すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。』と書いてある。」(マタイの福音書4章 1∼4節).

**みことばを広げよう**

イエス様は公生涯を始められる前に、聖霊様に導かれて荒野に行かれました。そしてそこで40日断食された後、悪魔からの試みを受けました。聖霊様は時々私たちの信仰を成長させるために私たちの人生の道を荒野のようにされます。このような時に私たちはイエス様が40日間断食をされたように、霊的にしっかりと武装しなければなりません。　　Q :イエス様は聖霊様に導かれてどこに行かれ、何をされ、ついには何を経験されました？

**物質の試み**

イエス様が悪魔から受けた最初の試みは石がパンになるようにさせるものでした。悪魔は40日断食によって非常に空腹を覚えておられたイエス様に肉体の必要を満たすために奇跡を行えと誘惑しました。しかしイエス様は自分の力を肉体の必要ではなく神様の栄光のためにだけ用いなくてはならない事実を良く知っておられました。だからイエス様は“人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。”と語られ、悪魔の試みを退けられました(マタイ4；4)。

荒野のような人生の道を歩いてみると物質の問題が私たちを苦しめたりします。このような時にもしかすると私たちは物質の問題を解決するためにしばらく信仰生活を遠ざけて生計に集中したい気持ちになるかもしれません。しかし私たちは神様の子供としてこの地の物質を求める以前に、神様のみことばを信頼して頼って生きなければなりません。

**名誉の試み**

悪魔はイエス様をエルサレム聖殿へと連れて行きました。そしてイエス様に神殿の頂から身を投げて奇跡的に生きる姿を見せろと誘惑しました(マタイ4：5-6)。これは悪魔の二番目の試みでイエス様が自分の特別な力を多くの人々に見せてイスラエルの王として権力と名誉を得なさいというものでした。しかし今回もイエス様は、みことばによって誘惑を退けられました(マタイ4：7)。なぜならイエス様はイスラエルと全人類の王は非凡な力と政治力ではない、いのちを捧げた犠牲によってたてられる事実をよく知っておられたからです。私たちは時に権力と名誉に対する誘惑に揺れたりします。他人よりも高い地位に座って自分の名前が知られて他人から賞賛を受けることは非常に甘く聞こえてくるからです。しかし私たちは権力と名誉を得るために力を尽くすよりは、たとい低い場所に置かれたとしても、誰もわかってくれなくても、犠牲して仕えることをより慕い求めなければなりません。私たちが犠牲して仕える時、神様が喜ばれ天国で大きい者として認めてくださるでしょう。

**偶像崇拝の試み**

悪魔は三回目にイエス様を試みるために非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せました。そして自分にひれ伏して拝むならこれら全てを与えるとイエス様に言いました(マタイ4：8-9)。これはイエス様が欲に導かれ偶像崇拝の罪を犯すようにさせるための悪魔の誘惑でした。これにイエス様は悪魔に引き下がれと叱られ、“あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ。”というみことばで誘惑を退けられました(マタイ4：10)。

私たちも同じく偶像崇拝の誘惑を絶えず受けます。古代の人々のように偶像に仕えなくても、神様よりも他の何かをより愛しているならばそれがまさに偶像崇拝です。神様より物質をより愛しているならば物質の偶像を、人気をより愛しているならば人気の偶像を、権力をより愛しているならば権力の偶像を仕えているのです。

偶像崇拝の誘惑がある度に、イエス様のように惑わす悪魔を対敵し神様だけをあがめて仕えることを願います。被造物の本分を守り、神様だけを高める時、神様が私たちの人生を栄えさせてくださいます。

Q : イエス様が悪魔から受けた試みの種類は何であり、イエス様はその度にどのようなみことばで誘惑を退けられましたか？

**暮らしの中へ**

1.物質の試みは巨額のお金のような大きなものだけでなく、小さなことでも訪れます。名誉の試みもまた高位職のような高い地位だけではなく小さく見える座のために来ることもあります。自分に訪れた物質の試み、または名誉の試みがあったならば分かち合ってください。

- キム聖徒は普段、区域のメンバーや信じていない友人たちと会う度に財布をあまり開きません。彼は隣人に食事一食、お茶一杯をもてなすことが徳を立て伝道の助けになることを知っていながらも快くできない自分の姿をよく自責したりします。

-イ勧士は数年前、区域長を任されないことがありました。当時は教区長の牧師先生が自分の能力と献身を分かってくれないように思い悲しみました。しかし神様のみこころがあると信じて従順しました。そうすると、イ勧士は以前には区域のメンバーを面倒見てあげるために完全に集中できていなかった礼拝をより熱心に捧げるようになりました。そして区域員になったことで区域員の心をより良く理解できるようになりました。

2. 他の宗教を信じていなくても神様よりも愛するものがあるならば偶像崇拝です。過去に神様よりもより愛したものがあるならば話してみてください。または今、神様よりも愛しているものがあるのか悩み、もしあるならば分かち合ってください。

- パク執事は数年前、高校3年生の受験生であった娘に1年間、主日に教会に来なくても良いから勉強にだけ専念しなさいと言いました。その年に娘は大学に合格はしましたが、パク執事は時間が経ってから自分が娘の大学合格を娘が神様と良い関係を形成することよりも大切だと考えた事実を悟り悔い改めました。今は娘に信仰よりも大切なものはないといつも話しています。

**決断と祈り～決断の告白～**

· 腐って無くなる物質の誘惑に揺れずに、神様のみことばだけに従うことを決断します。

· 永遠に忘れられる名誉の誘惑に揺れずに、低い場所で仕えて犠牲することを決断します。

· 虚しい偶像に拝まずにただ神様だけを信じることを決断します。

**祈り**祈りの課題を分かち合い、今日のみことばを考えながら伝道対象者のために声を出して祈りましょう。

**今日の祈り**

聖霊様、私を導いてください。時に荒野のような人生の道を歩くとしても、その全てが私を鍛錬させるための神様の訓練であることを信じてみことばによって勝利するようにしてください。罪の誘惑がある度に打ち勝てる堅い信仰を与えてください。勤勉にみことばを読み、祈りといつでも聖霊によって充満で勝利する信仰生活を生きるようにしてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

**◎ 主の祈りで終える**

**関連聖句**

·私はあらゆる悪の道から私の足を引き止めました。あなたのことばを守るためです。私はあなたの定めから離れませんでした。それは、あなたが私を教えられたからです。あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。(詩編 119編 101∼103節)

·すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行なう者は、いつまでもながらえます。(Ⅰヨハネ2章 16∼17節)